

■ 第2次総合計画

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

基本方針(政策)	8	参加と協働でいきいきと活躍できる環境を築きます
計画項目(施策)	26	コミュニティ活動の充実による地域活性化
＜施策分野＞		＜地域振興＞

所管部局	所管部局長の氏名
企画総務部	木村 嘉充
市民部	石嶋 政博

1. 総合計画で掲げている目的など PLAN

施策の目的	地域の健全な発展とコミュニティ活動の充実を図り、市民と行政の協働による自治活動の活性化を図ります。
施策方針(めざす姿)	市民が自主的かつ主体的に行う自治活動を尊重し、支援することで、コミュニティとの連携・強化、活動の充実により、地域活性化を図ります。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市市民と行政の協働推進指針	市政参画の推進、多様な主体との協働・連携による公共サービスの提供などに取り組むため、市民と行政の協働の方向性を定めるもの。	平成18年2月	平成17年度～	平成27年3月改訂

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧 DO

CHECK

行政の主な取り組み ↓			予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果		
			H26決算額	H27予算額	根拠 法令	財政 負担	単独 事業	事業 種別	施 策 貢献度	今後の 方向性		
事務事業名称・事業内容(実績)			担当課			(一般財源)						
① コミュニティ活動への支援												
○ 市民が住み慣れた地域に安全で安心して暮らせるよう、自治会活動、防犯・防災活動、高齢者福祉、子育て支援、コミュニティビジネスの立上げなど、さまざまな地域コミュニティ活動を支援します。												
○ 地域と市との協働を推進するため、各町区長連絡協議会の活動を支援します。												
○ 地域にぎわい創り推進員や水と緑の里づくり支援員等の人的支援とともに、自治機能の維持と地域資源を活かしたコミュニティビジネス等の創設支援により、地域活性化を図ります。												
○ 地域自らが考え、実行するまちづくりを推進するため、「地域まちづくり計画」の策定支援と事業実施支援を充実します。												
1	京丹後ふるさと応援団運営事業	企画政策課	1,205	853 (533)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持		
ふるさと応援団登録者(343人)へ情報提供、「ふるさと応援大使」(236人)を委嘱、団員交流会を開催												
2	自治組織活動支援事業	市民協働課	129,392	129,900 (14,100)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
自治会活動の活性化を支援するため、各町区長連絡協議会へ交付金を交付												
3	水と緑の里活性化事業	市民協働課	1,474	1,868 (1,868)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
小規模集落を対象に「水と緑の里づくり支援員」を配置して集落の運営をサポート(支援員4人)												
4	地域まちづくり計画策定事業補助金	市民協働課	286	600 (600)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
「地域まちづくり計画」策定に取り組む地区等への事業補助(3地区)												
5	自治宝くじコミュニティ助成金	市民協働課	5,000	- -	市規定	他	-	サービス	S	現状維持		
自治宝くじコミュニティ助成事業を活用し、地域振興事業に対し補助金を交付(2件)												
6	地域にぎわい創出事業	市民協働課	22,198	28,348 (4,948)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
地域ににぎわいを創出するため、全市民局に地域にぎわい創り推進員を配置(12人)												
7	袖志地区有線放送設備整備事業補助金【再編交付金活用事業】	市民協働課	5,454	- -	市規定	国・一部	-	施設整備	A	終了・廃止		
袖志区が設置する有線放送設備の整備事業に対し補助金を交付												
8	市民力活性化推進プロジェクト事業補助金【再掲】【施策23【市民協働】にも該当】	市民協働課	2,339	2,500 (300)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
地域の活力向上や課題解決を目的とした事業に取り組む団体へ補助金を交付(13団体)												
9	市民協働のまちづくり事業補助金【再掲】【施策23【市民協働】にも該当】	市民協働課	15,990	16,000 (3,000)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
地区等が行う地域振興事業に対して補助金を交付(154件)												
10	コミュニティビジネス応援事業【再掲】【施策23【市民協働】にも該当】	市民協働課	8,058	10,597 (5,597)	市規定	単費	○	サービス	S	現状維持		
コミュニティビジネスに新たにに取り組む地域活動団体に対し補助金交付(7団体)、リーフレット作成(23,000部)												
② コミュニティ活動環境の充実												
○ 地元区の利用が主である市所有集会施設の地元移譲により有効活用を図ります。また、拠点となるコミュニティ施設の整備・改修を支援します。												
11	地域集会施設整備費補助金	市民協働課	32,306	54,857 (10,657)	市規定	単費	○	施設整備	S	現状維持		
地区集会施設の新築・修繕等への整備事業補助(新築1件、修繕8件)												
12	まちづくり委員会運営事業	市民協働課	218	476 (476)	市規定	単費	○	内部管理	S	現状維持		
自治と協働によるまちづくり推進のための市まちづくり委員会の開催・運営経費(4回)												
13	集会施設管理事業	市民協働課	188	189 (189)	市規定	単費	○	施設整備	S	終了・廃止		
市有集会施設(指定管理施設以外の直営管理施設)の火災保険料(23施設)												
14	指定管理施設運営事業	市民協働課	14,747	14,370 (14,370)	市規定	単費	○	維持管理	S	縮小		
市有集会施設(指定管理施設)について、地元区等に管理を委託(16施設)等												
15	指定管理施設大規模改修事業	市民協働課	1,154	4,000 (4,000)	市規定	単費	○	維持管理	S	現状維持		
久美浜ぎょそんセンター・久美浜農業センターの改修工事を実施												
16	ふれあい広場設置事業補助金【再編交付金活用事業】	市民協働課	3,861	10,000 (500)	市規定	国・一部	-	施設整備	A	終了・廃止		
袖志区が設置するふれあい広場の土地取得等に係る測量と広場整備に係る実施設計等に対して補助金交付												
17	久美浜公会堂等管理事業	久美浜市民局	1,834	603 (589)	市規定	単費	○	維持管理	S	現状維持		
久美浜公会堂及び浜公園の維持管理(利用53回、8,267人)												

上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業										
18	大学連携推進事業	企画政策課	16,912	16,400 (16,400)	なし	単費	○	サー ビス	S	統合 (整理)
京都府内外の5大学と連携し、市内5地域における政策提言等を実施										
19	京丹後市夢まち創り大学運営事業【明許緑線】	企画政策課	-	28,592 (19,502)	新規事業(平成26年度事業の全部を繰り越して実施する事業)					
学生シェアハウス整備運営や地域と大学との調整等に対して補助金交付、マイクロバスでの学生送迎経費など										
20	ふるさと応援寄附金推進事業	企画政策課	-	3,465 (3,465)	新規事業					
ふるさと納税の寄附者への返礼として特産品等贈呈、クレジット決済導入経費										
			計	236,229	294,521 (92,197)					

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	①「地域まちづくり計画」を策定し、それぞれの地域の振興を図るために、自ら取り組む活動方針、活動計画等をつくり、その実現に努めます。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	市民が自主的かつ主体的に行う自治活動を尊重し、支援することで、コミュニティとの連携・強化、活動の充実により、地域活性化を図ります。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度		年度		年度	
	地域まちづくり計画の策定件数	件	23	H26	24	H26	80	H36
	市所有地区集会施設の移譲件数	件	6	H26	6	H26	76	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○まちづくり委員会からの答申を踏まえ、まちづくり基本条例を改正し、第5条(まちづくりの目標)に「誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまちづくり」を追加した。 ○地域にぎわい創り推進員について、各市民局に1人から2人体制(6市民局合計で12人体制)に強化し、地域の特性を生かした各種事業に取り組むことで地域の活性化を図るとともに、地域まちづくり計画の策定(H26策定件数:2件)等を推進した。 ○水と緑の里づくり支援員や地域にぎわい創り推進員による人的支援のほか、地域の活動の拠点となる地区所有集会施設の整備(新築1件、修繕8件)、地区所有施設・設備の整備(136件)、村おこし、地域づくり事業(1,687件)等に対して助成を行うことで、地域コミュニティ活動の充実・強化につなげることができた。 ○コミュニティビジネス応援補助金を創設(H26.4～)し、市民活動団体等による地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取組に対して助成(対象事業7件)することで、地域の継続的な発展の一助とすることができた。	○地域の進むべき方向や在り方を示す地域まちづくり計画については、約42%(94地区/全225地区)の策定率となっていることから、地域にぎわい創り推進員による支援活動により、計画策定をさらに進める必要がある。 ○市所有集会施設の有効活用による地域の活性化を図るため、公共施設見直し計画に基づき、施設の地元移譲を進めていく必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	地域まちづくり計画策定については、平成26年度に新たに2件が策定され、約42%(94地区/全225地区)の策定率となっている。 市所有地区集会施設については、平成28年4月からの地区移譲に向け対象地区への説明を行うなど、施設の移譲に向けた準備を進めた。 以上のほか、地域コミュニティとの連携・強化、活動の充実を図るため、地域にぎわい創り推進員や水と緑の里づくり支援員による人的支援、各種補助金による支援等を行い、地域活性化を図っている。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組)

ACT

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	地域にぎわい創り推進員により地域まち創り計画の策定を推進するとともに、地域の特性を生かした各種事業の取組を進め、地域活性化を図る	
	2	公共施設見直し計画に基づき、施設の地元移譲を進めていく	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業	
細事業名	01 京丹後ふるさと応援団運営事業			決算書	P.92
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	① 定住の促進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,205千円		1,293千円	88千円	93.1 %	1,286千円
目的	京丹後市に愛着のある京丹後市出身者や第二の「ふるさと」として興味・関心を持つ方が参加する京丹後ふるさと応援団を運営し、応援団員の拡大を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	本市の魅力を全国に発信し、交流人口増加と定住促進を図ることを目的に、本市に愛着、興味又は関心を持つ方（市外在住者）を団員登録し、年3回の会報誌等の送付により本市の情報発信を行った。応援団協賛店では、会報誌を設置し、来店者等への配布等により本事業のPRに協力いただいた。 また、協力いただける団員の方を「京丹後ふるさと応援大使」に委嘱し、本市のPRと団員の拡大に努めた。更に、団員や京丹後ゆかりの人々との交流・意見交換を目的として、京都市内で「京丹後ふるさと交流会」を開催した。 応援団員数 343人 （うち、ふるさと応援大使数 236人） 市内協賛店数 45店（平成27年3月末現在） ○事務経費 1,086千円 ・応援大使特製名刺等印刷費（延101人、延12,400枚） 197千円 ・パンフレット印刷費 69千円 ・会報誌等発送郵便代 73千円 ・入団費払込料金取扱手数料（130円×208人、80円×82人） 34千円 ・会報誌作成委託料（1,400部×3回発行） 713千円 ○団員等交流会「京丹後ふるさと交流会」 119千円 開催日：平成27年2月7日（土） 参加団員数：84人 場 所：京都市（セントノーム京都） ・職員旅費 15千円 ・会場借上料 88千円 ・報償物品 11千円 ・有料道路通行料 5千円				
主な財源	諸収入 京丹後ふるさと応援団入団費 290千円				
評価・課題等	○全国各地でふるさと応援大使による京丹後市名所入りの応援大使特製名刺を配付していただくことにより、京丹後市をPRすることができた。このPRをきっかけに、新たな団員登録や来丹される方など、交流人口の増加に寄与した。 ○団員に対しては会報誌による定期的な情報発信や市内協賛店で割引等特典など、本市を訪れるきっかけづくりを行っているが、更なる団員数の増加や、若年者の入団率が低いことなどが課題である。				
事業所管課		企画総務部／企画政策課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	01自治組織支援事業	
細事業名	01 自治組織活動支援事業				決算書 P.102
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
129,392千円		129,441千円	49千円	99.9 %	129,441千円
目的	自治会活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進し、住みよい地域社会を実現する。				
主要な 事務・事業及び 成果の概要	○地域振興交付金（地域振興交付金交付要綱）				126,465千円
	地域	地区数	世帯数	交付金	
	峰山町	37 区	5,098 世帯	28,269 千円	
	大宮町	16 区	4,157 世帯	22,768 千円	
	網野町	46 区	5,337 世帯	29,740 千円	
	丹後町	31 区	2,374 世帯	13,440 千円	
	弥栄町	24 区	1,957 世帯	11,048 千円	
	久美浜町	71 区	3,663 世帯	21,200 千円	
	合計	225 区	22,586 世帯	126,465 千円	
	《算出方法》20,000円（均等割）×地区数+5,400円（世帯割）×世帯数（H25.10.1）				
○区長連絡協議会運営事業交付金				2,800千円	
	区長会名	世帯数	世帯割合	交付金	
	峰山町区長会	5,098 世帯	22.6%	587 千円	
	大宮町区長協議会	4,157 世帯	18.4%	479 千円	
	網野町区長連絡協議会	5,337 世帯	23.6%	614 千円	
	丹後町区長連絡協議会	2,374 世帯	10.5%	273 千円	
	弥栄町区長連絡協議会	1,957 世帯	8.7%	225 千円	
	久美浜町区長連絡協議会	3,663 世帯	16.2%	422 千円	
	市区長連絡協議会			200 千円	
	合計	22,586 世帯	100.0%	2,800 千円	
《配分方法》（2,800千円-200千円（市区長連絡協議会））×世帯割合（H25.10.1）					
○職員旅費				127千円	
市区長連絡協議会等視察随行旅費（鳥取県智頭町ほか）					
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金			100,000千円
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			24,900千円
評価・課題等	市からの照会事務や依頼に基づく文書配付などの取扱事務、地域環境の整備、集会所の維持管理、地域コミュニティ活動等に対し交付金を交付することにより、自治会活動の活性化の支援及び市と地域との協働を推進することができた。				
事業所管課		市民部／市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	01自治組織支援事業		
細事業名	02 水と緑の里活性化事業				決算書 P.102	
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,474千円		1,562千円	88千円	94.3 %	2,186千円	
目的	人口減少や高齢化等により自治機能が低下しつつある小規模高齢化集落で、最低限の自治機能を維持し、主体的な集落自治を可能とし地域の発展に資する。					
主要な事業・事業及び成果の概要	○水と緑の里づくり支援員設置経費				1,464千円	
	支援員報酬：4人、延べ403日活動				1,365千円	
	(基本月額15,000円、業務従事1日につき1,600円を加算)					
	費用弁償				99千円	
	≪活動地域≫					
	中山間地域に位置し、小規模で自治機能が低下しつつある集落（世帯数が概ね10戸未満「H25.10.1現在」）で支援員の配置を希望する集落					
	町 域	対象集落（16集落）			うち配置集落（5集落）	
	網野町	仲禅寺、日和田、溝野			仲禅寺	
	丹後町	牧ノ谷、井上、井谷、畑、上山、三山			井谷	
	弥栄町	中山、須川、味土野、大谷、来見谷			中山、大谷	
久美浜町	奥山、坂谷			奥山		
主要な事業・事業及び成果の概要	≪活動内容≫					
	・担任する集落の目配り、逐次の集落巡回及びその状況の把握					
	・非常時、緊急時等における関係機関との連絡、援助					
	・集落住民の意見集約					
	・担任する集落点検の実施、集落での話し合いの促進、将来に向けた集落ビジョンの作成支援等					
	・集落住民が主体的に行う集落振興施策への協力など					
	○全国水源の里連絡協議会負担金					
	10千円					
	主な財源					
	評価・課題等	○集落への目配りや集落巡回、集落振興策の実施協力（仲禅寺区の仁王サミット、中山区の地元やさい直売所「にこにこや」の設置）などの支援活動を行い、地域の発展に資することができた。 ○里の人づくり事業などの他の施策と制度の枠を超え、連携支援していくことが必要である。				
事業所管課		市民部／市民協働課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業			
細事業名	03 地域まちづくり計画策定事業補助金				決算書	P.102	
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②－①)	執行率	(参考) 当初予算額		
286千円		286千円	0千円	100.0 %	1,000千円		
目的	地域の将来に関する目標、方針、施策、実施計画等を定める「地域まちづくり計画」の策定に取り組む地区等を支援し、地域の健全な発展と自治の振興を図る。						
主要な 事業・ 事業 及び 成果 の 概要	○地域まちづくり計画策定事業補助金（地域振興対策事業補助金）					286千円	
	地区等が行う地域振興対策事業のうち、「地域まちづくり計画」の策定に取り組む地区等に補助金を交付した。						
	(単位：千円)						
	区 分	地区等	計画調査	計画策定	合 計		
	網野町	水之江区	—	86	86		
	久美浜町	蒲井・旭活性化協議会	100	—	100		
		湊地区活性化協議会	—	100	100		
	合 計		100	186	286		
	〔補助対象経費〕						
	「地域まちづくり計画」の調査事業及び策定事業の実施に必要な経費（報償費、旅費、費用弁償、消耗品費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、使用料及び賃借料）						
	〔補助率等〕						
	補助対象経費の3分の2以内の額（100千円を限度）						
	≪参考≫地域まちづくり計画の策定状況						
区 分	H21	H22	H23	H24	H25	H26	合計
策定件数	1件	4件	7件	2件	8件	2件	24件
補助金活用件数	1件	3件	6件	1件	3件	2件	16件
※下段は、補助金を活用し計画策定した件数。							
主な財源							
評価・課題等	○計画策定により地域ビジョンが示され、自立的、主体的なまちづくりの推進が図れた。 ○地域にぎわい創り推進員による支援活動により、「地域まちづくり計画」の策定をさらに進める必要がある。						
事業所管課		市民部／市民協働課					

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業
細事業名	05 自治宝くじコミュニティ助成金			決算書 P.102
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
5,000千円		5,000千円	0千円	100.0 % 0千円
目的	一般財団法人自治総合センターによるコミュニティ助成事業を活用して、地域コミュニティ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動の充実と強化を図る。			
主要な 事業・ 事業及び 成果の 概要	○自治宝くじコミュニティ助成金（地域振興対策事業補助金） 5,000千円 地区等が行う地域振興対策事業のうち、一般財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業の対象となる事業に対し、同センターが定める額を交付した。			
	(単位：千円)			
	事業実施団体	事業内容	総事業費	助成金額
	大宮町 奥大野区	コミュニティ備品及び祭用備品整備 (屋台コマ改修・ジャッキ取り付け、物置)	2,597	2,500
	久美浜町 田村地区 活性化協議会	コミュニティ備品整備 (アンプセット、チューナー、マイク、スピーカー、ノートパソコン、プリンターほか)	2,632	2,500
	合 計		5,229	5,000
主な財源	諸収入 自治宝くじコミュニティ助成金（一般コミュニティ事業 10/10）			5,000千円
評価・課題等	○地区等が行うコミュニティ備品の整備に対して、一般財団法人自治総合センターが実施する一般コミュニティ助成事業を活用し、支援を行うことで、地域コミュニティ活動の充実及び強化に資することができた。 ○今後においても、地区等からの要望に基づき、一般財団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を要望していく。			
事業所管課		市民部／市民協働課		

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業	
細事業名	06 地域にぎわい創出事業				決算書 P.102
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
22,198千円		22,383千円	185千円	99.1 %	24,337千円
目的	全市民局に「地域にぎわい創り推進員」2人を配置し、地域ににぎわいを創出し良質な地域社会の形成及び振興を図る。				
主要な 事務・ 事業及び 成果の 概要	○地域にぎわい創り推進員設置経費（12人分）22,198千円				
	・賃金		19,001千円		
	・共済費（社会保険料、雇用保険料）		3,025千円		
	・旅費（先進地視察旅費等）		72千円		
	・需用費（消耗品費）		30千円		
	・役務費（推進員募集記事広告掲載料）		70千円		
	※平成26年6月より、各市民局1人 ⇒ 2人配置へ増員				
	○職務内容				
	(1)地域まちづくり計画の策定推進に関すること				
	(2)自主防災組織の設置促進に関すること				
	(3)区長連絡協議会の庶務に関すること				
	(4)地域の特性または特徴を活かした地域活性化の推進に関すること				
	(5)コミュニティビジネスの応援に関すること				
	(6)域学連携事業の支援に関すること				
	(7)その他、目的を達するために市長が特に必要と認めること				
	○任用条件等				
	・勤務時間：週5日勤務				
	・基本賃金単価：日額6,850円				
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金			6,000千円
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）			5,000千円
評価・課題等	○地域支援強化のため、平成26年6月から各市民に1人ずつ増員し、12人体制とし、地域特性を活かした各種事業に取り組み、また、地域まちづくり計画策定や自主防災組織設置等を推進することができた。 ○現在、臨時的任用職員として雇用している推進員について、蓄積した人脈やノウハウの発揮、地域づくりの先導的・指導的な役割の円滑な遂行など、地域支援体制の一層の強化を図るため、任用形態の見直しの検討を行っていく必要がある。				
事業所管課		市民部／市民協働課			

事業名称	再編交付金活用事業	
個別事業名		決算額
03	袖志地区有線放送設備整備事業補助金	5,454千円
決算額の内訳	19 負担金、補助及び交付金 有線放送設備整備事業費補助金 5,454千円	
主要な事務・事業及び成果の概要	地域住民等の生活の安定及び福祉の向上に寄与するため、袖志区が設置する「有線放送設備整備事業」に対し補助金を交付し支援した。 ・有線放送設備一式（親機3台） ・個別屋内スピーカー（子機84台） ・屋外スピーカー（5台） ・工事一式（通信電工、配線、取り付け）	
事業所管課	市民部／市民協働課	

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業	
細事業名	01 市民力活性化推進プロジェクト事業補助金			決算書	P.102
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,339千円		2,388千円	49千円	97.9 %	4,000千円
目的	地域の活力向上や課題解決に向けた取組を行う団体の活動支援を行い、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○市民力活性化推進プロジェクト事業補助金			2,339千円	
	“市民力”を活かしたまちづくりを進めるため、地域の活力向上や課題解決を目的に取組を行う団体に補助金を交付した。				
	(単位：千円)				
	活動の種類	団体名		補助金額	
	地域福祉	みんなで小西川に人集う小径をつくろう協議会		33	
		京丹後よさこい連		90	
	地域防災・防犯	京丹後市アマチュア無線ボランティア		111	
	産業経済振興	かぶと山ふるさと会		107	
		丹後フルーツガーデン		111	
		久美浜まるごとプロデュース協議会		111	
		一般社団法人京丹後青年会議所		74	
	伝統文化継承	芋野郷赤米保存会		60	
		二箇区「月の輪田」保存会		100	
		久美浜一区自治振興会		395	
	東日本大震災支援	NPO法人音楽のまちづくり		455	
食と健康		352			
ゆるぼう丹後の会		340			
合 計		13団体	2,339		
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金			1,000千円	
評価・課題等	○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取組に対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。 ○平成19年度に本事業を創設以降、一定期間が経過していることから、本制度により助成した団体における補助終了後の活動状況についてアンケート調査等を実施し、事業の効果検証を行う必要がある。				
事業所管課		市民部／市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業					
細事業名	02 市民協働のまちづくり事業補助金						決算書	P.102	
総合計画	基本方針	Ⅴ パートナースhip都市		計画項目	① 地域コミュニティの強化				
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率		(参考) 当初予算額		
15,990千円		16,000千円		10千円	99.9 %		16,000千円		
目的	地区等が行う地区所有施設の整備や村おこし・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。								
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	○市民協働のまちづくり事業補助金						15,990千円		
	地区等が行う地域振興対策事業のうち、地区が所有する施設及び設備の整備に要する経費（1件あたりの事業費が30千円以上1,000千円未満のもの）や村おこし・地域づくり事業（1件あたりの事業費が30千円以上のもの）、その他事業（府民運動継続事業、緊急を要する事業及びその他地域の課題解決のために必要な経費）に対し補助金を交付した。								
	(単位：件、千円)								
	区 分	地区所有 施設整備		村おこし・ 地域づくり		その他		合 計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
	峰山市民局	29	2,169	3	570	4	100	36	2,839
	大宮市民局	27	2,456	2	377	0	0	29	2,833
	網野市民局	19	2,483	4	653	0	0	23	3,136
	丹後市民局	15	2,132	0	0	1	300	16	2,432
	弥栄市民局	17	1,308	0	0	3	736	20	2,044
久美浜市民局	29	2,619	1	87	0	0	30	2,706	
合 計	136	13,167	10	1,687	8	1,136	154	15,990	
≪参考≫市民協働のまちづくり事業補助金の交付実績 (単位：件、千円)									
区 分	H20	H21	H22	H23	H24	H25			
件 数	135	149	147	181	181	154			
金 額	16,807	17,623	17,599	18,964	17,517	15,251			
主な財源	繰入金 地域振興基金繰入金						10,000千円		
評価・課題等	○地区等が行う1,000千円未満の地区所有施設の整備等に対して、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながる支援を迅速に行うことができた。 ○補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながっている。								
事業所管課		市民部／市民協働課／各市民局							

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	15地域活動応援事業
細事業名	01 コミュニティ・ビジネス 初応援事業			決算書 P.94
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
8,058千円		11,329千円	3,271千円	71.1 % 11,329千円
目的	地域の活力向上や課題解決に向けた取組を行う団体の活動支援を行い、市民、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展を図る。			
主要な 事業・ 事業及び 成果の概要	○コミュニティビジネス応援補助金			7,635千円
	“市民力”を活かしたまちづくりを進め、地域の課題解決を市民が主体となり、ビジネス手法を用いて取組を解決する団体に補助金を交付した。			
	(単位：千円)			
	活動の種類	団体名		補助金額
	健康・医療・福祉	ハーブとスローフードのまちづくり		995
		宇川ふるさとづくり協議会		620
		公益社団法人京丹後市シルバー人材センター		1,274
		食と健康		621
	地域産業活性化	栃谷地縁グループ		961
		五十河コミュニティショップ歌仙		1,164
	観光振興	月亭リノベーションプロジェクト		2,000
	合 計		7団体	7,635
	○コミュニティビジネスリーフレット作成（23,000部）			278千円
	○コミュニティビジネスアドバイザー派遣業務 ※京丹後市総合サービス株式会社			145千円
	主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金		
評価・課題等	○市民活動団体などが実施する地域の活力向上や課題解決などの取組に対して補助を行うことで、団体及び行政の適切な役割分担と連携による地域の持続的な発展の一助とすることができた。 ○取り組んだ事例発表、また活動団体等の意見交換の場を開催し、情報共有することが必要である。			
事業所管課		市民部／市民協働課		

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	02地域にぎわい活性化事業	
細事業名	04 地域集会施設整備費補助金				決算書 P.102
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
32,306千円		32,306千円	0千円	100.0 %	32,351千円
目的	活動の拠点となる地区所有集会施設の整備に対して補助金を交付し、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。				
主要な 事業・ 成果の 概要	○集会施設等整備事業補助金（地域振興対策事業補助金） 32,306千円 地区等が行う地域振興対策事業（新築、増築、購入、改築及び修繕）のうち、 新築及び修繕に対して補助金を交付した。				
	(単位：千円)				
	区分	町名	地区名	事業概要	総事業費 補助金額
	新築	峰山町	第11区	区民会館新築事業 (木造瓦葺平屋建、床面積118.36㎡)	27,000 15,851
	修繕	峰山町	橋木区	倉庫屋根修繕	1,889 629
		大宮町	延利区	公民館屋根防水シート等修繕	1,782 891
		網野町	浜詰区	センター屋根及び外壁改修	18,991 9,495
		弥栄町	等楽寺区	作業所屋根替	2,193 731
			井辺区	公民館前広場舗装	3,240 1,080
		久美浜町	市場区	公民館下水道接続及びトイレ改修	2,592 1,296
			壱分区	公民館下水道接続及びトイレ改修	2,886 1,433
		野中区	公民館下水道接続及びトイレ改修	1,800 900	
	合 計				62,373 32,306
主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金			25,000千円
評価・課題等	地区等が行う地区所有集会施設等の新築及び修繕事業に対して補助金を交付することで、地域コミュニティ活動の充実及び強化につながっている。				
事業所管課		市民部／市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	05まちづくり委員会運営事業	
細事業名	01 まちづくり委員会運営事業			決算書	P.104
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
218千円		238千円		20千円	91.5 % 238千円
目的	まちづくり委員会を設置し、市長の諮問等について調査・審議し答申するとともにまちづくりについて提言を行い、市民の市政参画と協働によるまちづくりを推進する。				
主要な 事業・ 成果の 概要	○まちづくり委員会開催経費（委員数：12人） 218千円 ・ 委員報酬（1人1回4,000円、4回開催） 188千円 任期：2年 ・ 費用弁償（委員会出席旅費） 28千円 ・ 需用費 2千円				
	○まちづくり委員会の所掌事務				
	市長の諮問に応じ、自治と協働によるまちづくりを推進するため、調査及び審議し答申するほか、次に掲げる事項について協議し、必要に応じて市長に意見を述べる。				
	(1) 公益性のある市民活動の推進策に関すること				
	(2) 地域振興協議会及び地域まちづくり協議会からの提言に関すること				
	(3) 地域まちづくり組織の育成、支援策に関すること				
	(4) 地域まちづくりリーダーの育成、支援策に関すること				
	(5) その他市長が必要と認めること				
主な財源					
評価・課題等	市長からの諮問事項「住民総幸福のまちづくり条例（仮称）の制定」、「市民局長の外部登用」について、審議していただき、答申を受けることができた。「住民総幸福のまちづくり条例（仮称）の制定」の答申を踏まえ、まちづくり基本条例のまちづくりの目標に「誰もが幸福をますます実感できるまちづくり」を追加する改正を行った。				
事業所管課		市民部／市民協働課			

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	06集会施設管理事業	
細事業名	01 集会施設管理事業			決算書	P.104
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
188千円		189千円	1千円	99.4 %	189千円
目的	活動の拠点となる市所有集会施設（指定管理施設以外の直営管理施設）の管理を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	○市所有集会施設火災保険料（23施設） <指定管理施設（52施設）以外の直営施設> 188千円				
主な財源					
評価・課題等	当該施設（市直営管理施設）は地元住民による利用が主であり、地区が所有管理するほか、地区の自主的な裁量や工夫により、地域の活性化のために活用しやすくなると考えられる。このため、「公共施設の見直し方針」に基づく「集会施設等コミュニティ施設の譲渡に関するガイドライン」により、地元区等自治会への移譲等を順次進める必要がある。				
事業所管課	市民部／市民協働課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	07集会施設等指定管理運営事業		
細事業名	01 指定管理施設運営事業				決算書	P.104
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
14,747千円		14,753千円	6千円	99.9 %	14,250千円	
目的	地域の活動の拠点となる市所有集会施設について、地区等を指定管理者に指定して管理運営を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○指定管理委託料（16施設）				13,511千円 (単位：千円)	
	町 名	指定管理施設名	金額	町 名	指定管理施設名	金額
	大宮町	五十河地区基幹集落センター	500	久美浜町	久美浜福祉センター	1,617
	網野町	浜詰農業団地センター	72		久美浜果樹センター	1,360
		島津勤労者と子どものセンター	72		久美浜農業センター	1,978
		小浜勤労者と子どものセンター	72		久美浜婦人センター	1,755
	弥栄町	中津・田中集会施設	67		久美浜林業センター	1,250
		須川集会施設	59		久美浜機業センター	1,435
		野間基幹集落センター	144		久美浜健康センター	1,464
		野中集会施設	77		久美浜ぎょさんセンター	1,589
○指定管理施設火災保険料（上記を含む58施設）				637千円		
○指定管理施設修繕料				599千円 (単位：千円)		
町 名	指定管理施設名	修繕内容		金額		
大宮町	五十河地区基幹集落センター	玄関屋根修繕		502		
久美浜町	久美浜機業センター	屋根防水工事		97		
主な財源						
評価・課題等	○地域活動拠点となる市所有集会施設を地区等を指定管理者とし管理運営することで、コミュニティ活動の活性化が図れた。 ○「公共施設の見直し方針」に基づく「集会施設等コミュニティ施設の譲渡に関するガイドライン」により、地元区等自治会への移譲等を順次進める必要がある。 ○社会・経済情勢や財政状況の変化を踏まえた上で、効率的・効果的な施設運営に向け、施設の利用実態に応じた管理運営をする必要がある。					
事業所管課		市民部／市民協働課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	07集会施設等指定管理運営事業
細事業名	02 指定管理施設大規模改修事業			決算書 P.104
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,154千円		1,155千円	1千円	99.9 % 1,300千円
目的	地区等を指定管理者に指定して管理運営している市所有集会施設の改修工事を行い、地域コミュニティ活動の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○指定管理施設改修工事費			1,154千円
	(単位：千円)			
	町 名	指定管理施設名	修繕内容	金額
	久美浜町	久美浜ぎょそんセンター	男女トイレ改修工事代金	756
		久美浜農業センター	2階大会議室照明灯改修工事	398
合 計			1,154	
主な財源				
評価・課題等	○地域活動拠点となる指定管理施設の設備修繕及び更新を行うことで、コミュニティ活動の活性化が図れた。 ○社会・経済情勢や財政状況の変化を踏まえた上で、効率的・効果的な施設運営に向け、施設の利用実態に応じた管理運営をする必要がある。			
事業所管課		市民部／市民協働課		

事業名称	再編交付金活用事業	
個別事業名		決算額
02	ふれあい広場設置事業補助金	3,861千円
決算額の内訳	19 負担金、補助及び交付金 ふれあい広場設置事業費補助金 3,861千円	
主要な事務・事業及び成果の概要	地域住民等の生活の安定及び福祉の向上を図るため、丹後町袖志地区が設置する「ふれあい広場整備事業」に対し補助金を交付し支援した。 ふれあい広場を兼ねた多目的広場の設置に伴う土地取得等のための測量及び広場整備（H27実施）に係る実施設計等 - 基準点測量、路線測量、現地測量、用地測量（5筆：708㎡） - 宅地造成実施設計及び里道（1筆）、水路（1筆）の境界確定 ※H26～H27の2か年事業 平成27年度計画 - 用地取得（5筆：708㎡） - 広場整備工事	
事業所管課	市民部／市民協働課	

予算科目	02総務費	01総務管理費	10地域振興費	09久美浜公会堂等管理事業	
細事業名	01 久美浜公会堂等管理事業				決算書 P.104
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	① 地域コミュニティの強化	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,834千円		1,869千円	35千円	98.1 %	1,869千円
目的	久美浜公会堂及び浜公園（屋外トイレ含む）の適正な管理を行い、市民及び地域福祉の増進と地域文化の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	久美浜公会堂及び浜公園の適正な管理を行い、市民及び地域福祉の増進と地域文化の向上を図ることができた。				
	○久美浜公会堂・浜公園維持管理経費				1,834千円
	・消耗品費（公会堂公衆便所用品ほか）				10千円
	・光熱水費（公会堂電気・水道代ほか）				166千円
	・公会堂修繕料（公会堂バトン吊り下げ装置修繕ほか）				542千円
	・浜公園修繕料（屋外時計修繕）				540千円
	・保険料（公会堂・公衆便所保険料）				25千円
	・施設清掃委託料（公会堂内・浜公園内・浜公園公衆便所清掃）				282千円
	・消防設備等保守点検委託料				32千円
	・防火対象物定期点検報告業務委託料				12千円
主要な財源	・工事請負費（浜公園誘導看板設置）				199千円
	・原材料費（浜公園内補修用山土）				26千円
	※ 久美浜公会堂利用状況 (単位：回、人)				
	年 度	利用回数	人 数	備 考	
	平成22年度	6	2,078	改修工事あり	
	平成23年度	46	6,516	府選挙あり	
	平成24年度	86	8,340	市・国選挙あり	
	平成25年度	82	10,076	参議院選挙あり	
	平成26年度	53	8,267	府・衆議院選挙あり	
	使用料	久美浜公会堂使用料			
評価・課題等	○浜公園は、地域のイベントやグラウンドゴルフなどの軽スポーツの拠点となっている。また、文化的建造物である久美浜公会堂は、ヨガ教室や講演会など健康増進事業や文化事業等の利用により、地域の活性化及び住民の福祉向上に役立っている。 ○久美浜公会堂を利用した地域行事等は定着してきているが、今後も市内外の利用者が増えるように広報宣伝活動を行い、施設のさらなる利用促進を図る必要がある。				
事業所管課		市民部／久美浜市民局			

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	08大学連携推進事業	
細事業名	01 大学連携推進事業			決算書	P.92
総合計画	基本方針	V パートナースhip都市	計画項目	② 協働と共創のまちづくりの推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
16,912千円		16,972千円	60千円	99.6 %	16,860千円
目的	京都府内外の大学が京丹後市と連携し、地域の課題解決のための方策を大学と地域がともに検討し、課題解決や地域の活性化、学生教育や継続的な大学連携等につなげる。				
主要な 事業及び 成果の概要	○域学連携地域活力創出モデル実証事業実行委員会補助金 16,400千円 ※京丹後市域学連携夢まち創り実行委員会：7団体 〔 龍谷大学、高崎経済大学、同志社大学、大手前大学、鳥取環境大学 〕 〔 （一社）京都府北部地域・大学連携機構、京丹後市 〕 地域課題解決及び地域活性化のため、京都府内外の5大学（龍谷大学、高崎経済大学、同志社大学、大手前大学及び鳥取環境大学）が市内4地域（網野、大宮、久美浜及び弥栄）に入り、地域課題把握のための合宿調査、地元住民との意見交換、課題解決のための提案、成果発表会における発表等を行った。 ・第1クール（平成26年5月～8月） 地域資源、課題の把握のための合宿調査を実施 ・第2クール（平成26年8月～11月） 地域課題の確認及びプロジェクトを通じての実践的学習を実施 ・第3クール（平成26年12月～平成27年2月） ラッピングバス出発式及び最終報告会を実施 ○政策企画委員報酬（1人） 100千円 「域学連携」事業その他市と大学の連携に関する企画提案及び助言 ○公共政策フォーラム2014in京丹後実行委員会負担金 412千円 日本公共政策学会と共同で大学生による政策コンペ及びシンポジウムを実施 ・日時：平成26年10月25日～26日 ・場所：（1日目）峰山総合福祉センター、（2日目）アグリセンター大宮 ・政策コンペ参加チーム数：20大学から27チーム（約300人）が参加				
主な財源	府補 未来づくり交付金（大学連携推進事業）				8,080千円
評価・課題等	○地域の課題解決のための方策を大学と地域が一緒になって検討し、市内4地域における提案と、実践活動を通じた大学教育が行われた。 ○日本公共政策学会と共同でフォーラムを開催することで、東は関東、西は九州から多数の大学が市内に入り、政策提案コンペを行うことで、大学生の視点による多様な提案を得ることができた。				
事業所管課		企画総務部／企画政策課			